



2025年1月31日

各 位

会 社 名 株式会社 島 精 機 製 作 所  
代 表 者 名 代表取締役社長 島 三 博  
(コード番号 6222 東証プライム)

(問合せ先)取締役常務執行役員経営企画部長 北川 尚作  
(TEL 073-471-0511)

## 棚卸資産評価損、貸倒引当金繰入額、為替差損、減損損失の計上 及び業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第3四半期連結累計期間において棚卸資産評価損、貸倒引当金繰入額、為替差損、減損損失を計上するとともに、2024年5月10日付で公表いたしました2025年3月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2024年9月20日付で公表いたしました2025年3月期の期末配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのであわせてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 棚卸資産評価損（売上原価）の計上について

コロナ禍以降の生産部材不足、材料価格の高騰や最近の当社製品の受注状況の変化に伴う棚卸資産の保有状況に鑑み、当第3四半期連結会計期間において、一定の回転期間を超えて保有する材料については定期的に帳簿価額を切り下げの方法に変更したことにより評価損17億37百万円を計上いたしました。

#### 2. 貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）の計上について

世界経済の先行きの不透明感より顧客業界の経営環境は厳しさが増してきています。こうした状況の中で一部の顧客からの債権回収状況が悪化してきており、回収リスクを精査した結果、今後の回収に特段の注意を要する売上債権について貸倒引当金繰入額43億61百万円を計上いたしました。

#### 3. 為替差損（営業外費用）の計上について

2025年3月期第3四半期連結累計期間での為替相場の変動にともない、為替差損5億85百万円を営業外費用に計上いたしました。これは、主に当社及び在外連結子会社の外貨建資産負債について、第3四半期末時点の評価替えによるものであります。

なお、上記の金額は2025年3月期第3四半期末時点での為替相場の影響による為替差損であり、今後の為替相場の状況により変動いたします。

#### 4. 減損損失（特別損失）の計上について

当社が保有する生産設備等の固定資産、また一部の連結子会社の保有する固定資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討いたしました。その結果、2025年3月期第3四半期連結累計期間において12億47百万円を減損損失として計上いたしました。

## 5. 2025年3月期通期連結業績予想の修正

### (1) 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	44,000	1,500	2,200	1,700	49.25
今回修正予想 (B)	32,000	△11,400	△11,200	△13,300	△385.30
増減額 (B－A)	△12,000	△12,900	△13,400	△15,000	—
増減率 (%)	△27.3	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	35,910	430	1,018	1,030	29.85

### (2) 修正の理由

通期の業績見通しにつきましては、主力市場であるバングラデシュの政情不安による現地の事業環境や世界的な景気減速を受け、先行き不透明感が強く、業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、前回予想（2024年5月10日公表）を据え置いていましたが、バングラデシュ市場の回復の遅れや、主要マーケットである中国市場、イタリア市場における設備投資が低調となり全体の売上高は当初発表予想を下回る見込みとなりました。利益面におきましても棚卸資産評価損、貸倒引当金繰入額、減損損失を計上したことで、各利益段階において当初発表予想を大きく下回る見通しとなりました。これらの状況を踏まえ、通期連結業績予想を修正いたします。

## 6. 配当予想の修正

### (1) 修正内容

	年 間 配 当 金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
前回予想 (2024年9月20日)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 15.00
今回修正予想	—	—	—	5.00	10.00
当期実績	—	5.00	—		
前期実績 (2024年3月期)	—	5.00	—	5.00	10.00

### (2) 修正の理由

当社は株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題のひとつとして位置付け、事業の持続的発展を通じて、安定した配当を長期にわたって継続することを基本方針としております。

しかしながら、2025年3月期においては上記の通り大幅な損失計上の見通しとなることから、誠に遺憾ではございますが、2024年9月20日付で公表しました1株あたり期末配当予想10円を5円に修正させていただきます。これにより、2025年3月期の年間配当予想は、すでに実施いたしました中間配当金5円とあわせて、年間では1株につき10円となる見込みであります。

(注) 上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上